

JSTとは

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)は、日本の科学技術・イノベーション基本計画の中核的な役割を担う機関であり、日本の科学技術の振興を図ることを目的とする国立研究開発法人です。科学技術の振興と社会的課題の解決のために、国内外の大学・研究機関、産業界等と連携した多様な事業を総合的に実施し、社会の持続的な発展と科学技術・イノベーションの創出に貢献していきます。



JSTの事業内容

研究開発の推進

イノベーションにつながる研究開発を推進するとともに、研究成果の実用化、国際的な共同研究を通して、経済・社会的課題に対応します。

▶ SATREPS

研究開発戦略

さまざまなステークホルダーとの対話や客観的なデータの分析を通して、将来を見据えた研究開発戦略を立案します。

対話・協働

未来社会を共に創るためにさまざまなステークホルダーとの対話を推進するとともに、次世代の科学技術人材や科学技術イノベーションの創出に資するさまざまな人材育成を行います。

情報基盤の強化

研究開発活動を支援する情報サービスを提供します。研究論文、文献、研究者、特許などの情報を収集・整理し、それらの情報を提供するインフラを整備します。

SATREPS

国立研究開発法人科学技術振興機構 国際部SATREPSグループ
〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's五番町
Tel: 03-5214-8085
E-mail: global@jst.go.jp

@SATREPS @Friends of SATREPS

SATREPSのマスコットキャラクター、**レップスくん**。夢は研究者か哲学者で、一人でじっくり考えることが好き。寝癖のような頭頂部がチャームポイント。中央アフリカに生息する鳥、ハンビロコウがモデルです。魚をとらえるタイミングをじっと待つその姿は、一つのことじこりにじっくり取り組むSATREPSの研究者の姿を映します。



<https://www.jst.go.jp/global/>

地球のために、未来のために

SATREPS

Science and Technology Research Partnership
for Sustainable Development

地球規模課題対応
国際科学技術協カプログラム

地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム

Science and Technology Research Partnership for Sustainable Development

SATREPSは、科学技術と外交を連携し相互に発展させる「科学技術外交」の一環として、地球規模の課題解決を目指す国際共同研究を推進するプログラムです。

昨今、気候変動や食糧問題、自然災害、感染症など、地球規模の課題は年々複雑化するとともに、特に影響を受けやすい開発途上国においては深刻な状況となっています。これらを解決するためには、国を越えた科学技術イノベーションの創出と研究成果の社会還元、人材の育成と研究能力の向上が必要です。

SATREPSでは、環境・エネルギー、生物資源、防災、感染症*の4つの研究分野を対象に日本と開発途上国の研究者がともに課題に取り組み、現地のニーズを踏まえながら実社会で活用可能な知識や技術を新たに創り出していくことにより、持続可能な開発を目指す国際社会に貢献します。

●地球規模課題とは：一国や一地域だけで解決することが困難であり、国際社会が共同で取り組むことが求められている課題のこと。

*感染症分野は、国立研究開発法人医療研究開発機構 (AMED) の所管です。AMEDについてはWEBサイト (<https://www.amed.go.jp/>) をご覧ください。



SATREPSの3つの目標

- 目標1 日本と開発途上国との国際科学技術協力の強化
- 目標2 地球規模課題の解決と科学技術水準の向上につながる新たな知見や技術の獲得、これらを通じたイノベーションの創出
- 目標3 キャパシティ・ディベロップメント

社会実装に向けて

●キャパシティ・ディベロップメントとは：国際共同研究を通じた開発途上国の自立的な研究開発能力の向上と課題解決に資する持続的活動体制の構築、また、地球の未来を担う日本と途上国の人材育成とネットワークの形成のこと。

●社会実装とは：具体的な研究成果の社会還元。研究で得られた新たな知見や技術が、将来製品化され市場に普及する、あるいは行政サービスに反映されるなどにより、社会や経済に便益をもたらすこと。

研究分野 (3分野4領域)

01 環境・エネルギー分野 地球規模の環境課題

生態系・生物多様性の劣化、都市への人口集中、生産・消費活動の増大、環境汚染の拡大、気候変動など、地球規模で直面している環境課題の解決を目指します。

02 環境・エネルギー分野 カーボンニュートラル

温室効果ガスによる気候変動を緩和するカーボンニュートラルの実現を目指して、エネルギー消費の抑制、再生可能エネルギーの促進、スマートサイエティなどの研究開発を行います。

03 生物資源分野

気候変動は世界規模で様々な変化をもたらしており、生物資源の多様性および持続的な生産が脅かされています。食料、飼料、さらにエネルギー源など生物資源がもたらす恩恵を将来にわたって享受し続けるため、持続可能な生産・利用方を提示します。

04 防災分野

安全かつ強靱 (レジリエント) で持続可能な都市・社会の実現を目指して、自然災害や都市化に伴う大規模災害の防災・減災に関する研究を、日本の経験・知見を生かしながら、全地球的な枠組みの中で総合的・組織的に展開します。

これまでに採択された研究課題はウェブサイト (<https://www.jst.go.jp/global/kadai/index.html>) をご覧ください



SATREPSのしくみ

SATREPSでは、国内研究機関への研究助成のノウハウを有するJSTと、開発途上国への技術協力を実施する独立行政法人国際協力機構 (JICA) が、国際共同研究全体の研究開発マネジメントを協力して行います。

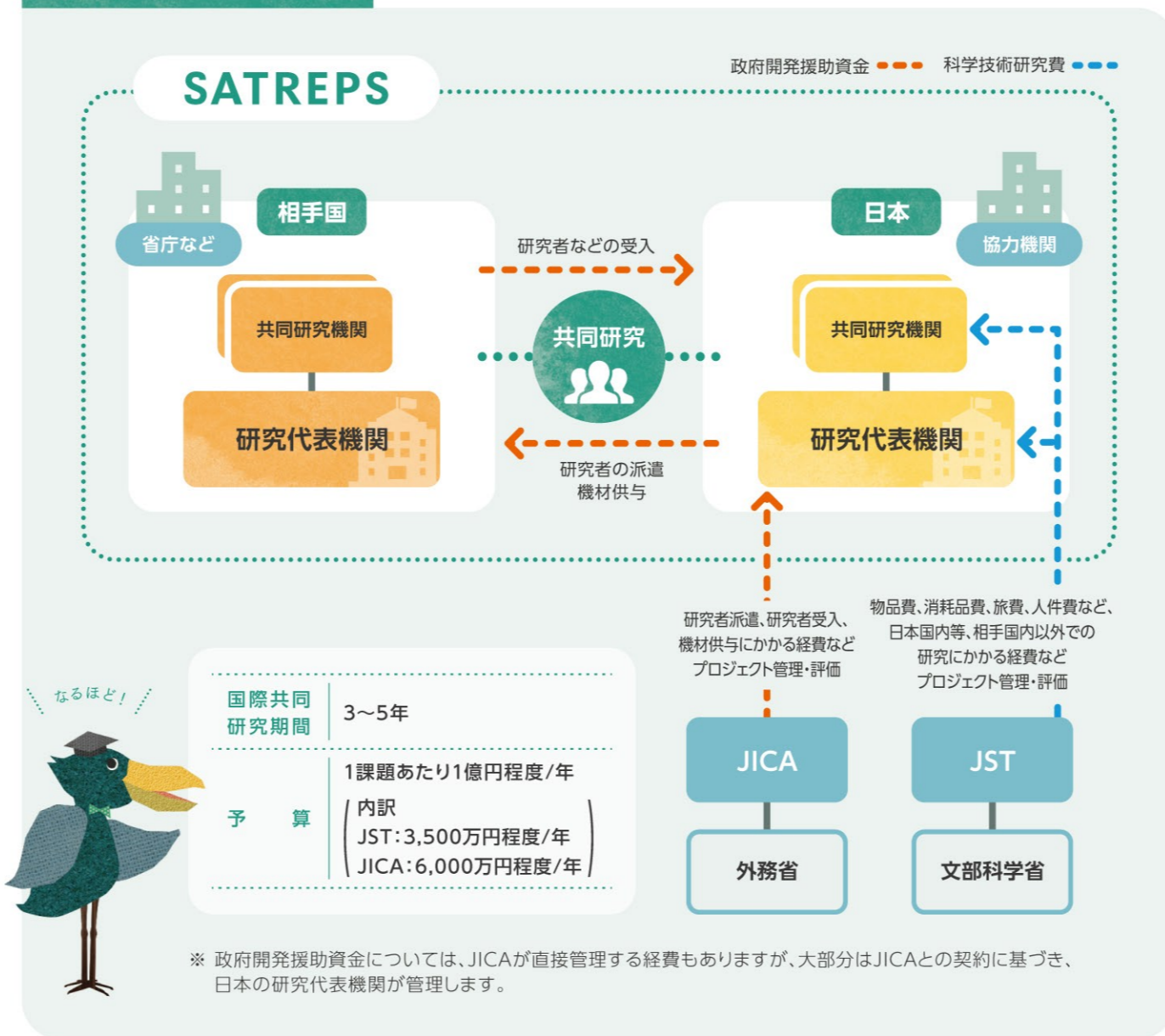
JSTは委託研究費として、日本国内等、相手国以外での研究に必要な費用を支援し、JICAは技術協力プロジェクト*経費として、相手国、日本国での研究者派遣、研究者受入、機材供与に必要な費用を支援します。

*JICAの技術協力プロジェクトでは、日本側から全ての費用を負担するものではなく、相手国も応分の負担を行います。相手国負担の内容は、主として相手国側の人件費、供与する機材の維持管理費等が該当します。

独立行政法人国際協力機構 (JICA) についてはWEBサイト (<https://www.jica.go.jp/index.html>) をご覧ください。



支援・研究体制



SATREPSの入口から出口まで

